

予防医学協会総合健診センター ヘルスポートだより

平成24年1月 新しく生まれ変わります！

総合健診センター・ヘルスポートは、平成9年に藤枝市善左衛門の地に人間ドック専門施設としてオープンし、地域医療の担い手としてその役割を果たしてまいりました。

初年度は、受診者数762名（基本ドック）でスタートしたヘルスポートも地域の皆様にご愛顧いただき、平成21年度には受診数8,148名という大変多くの皆様にご利用いただいております。これもひとえに地元の志太・榛原地区の皆様はもとより県内全地域からお越しいただいている皆様方のおかげです。心より厚くお礼申し上げます。

さて、オープンから13年の月日が経過し、建物の一部老朽化に加え、現在の健診施設での受け入れ可能な人数や駐車場の収容台数もほぼ限界に近づきつつあります。そのため、ヘルスポートが目指してきた「ゆとりある空間で、きめ細かいサービスを受診者様に提供すること」が次第に困難な状況になり、ご迷惑とご不便をお掛けしております。

そこで、この度、現在のヘルスポートから北へ300メートルほどの場所に土地を確保し、新築移転する運びとなりました。「新ヘルスポート」の建設予定地は、藤枝市善左衛門二丁目19-8番地(株式会社ニチビ様所有)で約8,556平方メートル(2,593坪)の広大な敷地面積を誇ります。現在のヘルスポートの敷地面積が3,987平方メートルですので、約2倍強の広さとなり、駐車場も十分に確保できます。また、建物は、鉄筋コンクリート造り2階建て(延床面積2,178平方メートル)を予定しており、より一層利用しやすい建物環境を目指してまいります。

現在は、まだ掲載写真のとおり検診車の駐車場として使用しておりますが、近々、建築のための法的な諸手続きを進め、来年1月以降は、開発造成工事が始まる予定です。新築オープンの時期は、平成24年1月中旬頃を予定しています。

今後、当協会の機関紙「けんこう静岡」の中で順次、新築工事の進捗状況や充実のアメニティ(心地よさ)などの魅力をご紹介していきますので、皆様是非「新ヘルスポート」にご期待ください！
(健康増進課 水谷)



建設予定地

九月十六日、三十日の二日に亘り静岡市立服織小学校六年生六名が「総合」学習で当会を訪れた。

同小学校の「総合」の授業の時間の中で「地域にある事業所を訪問し、どんな仕事をしているのか」質問等を通して理解する目的で訪れた小学生達は、北條専門監より協会の概要説明などを聞いたあと、各々が考えてきた質問の中で「どんな気持ちで仕事に向かっているのか」「検査で失敗したことがないのか」「一番難しい検査



は、何か」など大人顔負けの質問がなされ返答に困ってしまう一幕もありました。最後に各検査室を回って、職員の説明を聞き、興味深げに且つ、一生懸命真面目に学んでいました。

「総合」学習で学ぶ 服織小学生が来協



皆さま、新しい年をいかがお過ごしですか。▼さて昨年の暮れから今年に入って忘年会や新年会で飲み機会があったと思いますが自分分は、たいがいビールに始まり、最後には、いつも「焼酎のお茶割り(静岡では、静岡割りとも呼ぶ)を飲んでいるのがお決まりのパターンである。▼静岡は何といてもお茶処なので、焼酎のお茶割りは全国的にも当たり前のものだと思っていれば、これがどうも違うらしい。静岡県外の人が静岡に来て、一緒に飲みに行くと、いつもお茶割りを勧めるのであるが、これが非常に珍しく、驚きと感動があるらしい。▼焼酎自体に味がほとんどついていないので、お茶本来の甘みや旨みも十分に味わうことができるこの「焼酎のお茶割り」。悪酔いもしないし、二日酔いにもなりにくく、健康にもいい気がする。?と思っ

ているのは、自分だけなのか(笑) (T・I)

外山常務理事に中央会賞 三戸課長に中央会奨励賞 予防医学全国大会開かれる



外山常務(左)と三戸課長(右)

財団法人予防医学事業中央会他が主催する第55回予防医学事業推進全国大会が、さる10月22日長崎市の長崎プリックホールにおいて開催され、全国から予防医学・寄生虫予防の関係者が多数参加した。大会では功績者の表彰が行われ、当協会の外山武志常務理事(兼)事務局長が予防医学事業中央会賞(小宮記念賞)を、西部検査所健診検査課の三戸英寿課長が予防医学事業中央会奨励賞を受賞した。

外山常務理事は、昭和60年入職後永年にもわたって業務の効率化や精度管理の向上に努め、平成18年から事務局長次長・業務部長、19年から常務理事(兼)事務局長として、持ち前の強力なリーダーシップと卓抜な識見を發揮し飛躍を成し遂げた。また予防医学運動の全国展開に大きく貢献しており、その顕著な功績により今回の受賞となった。



中央会賞を受ける外山常務

三戸課長は、昭和60年入職以来健診検査業務一筋に健診検査の質や検査精度の高さを維持するなど、信頼される健診検査業務の充実を努めており、今後の協会発展のために大きく貢献してくれるものと期待されている。「健康は明るい未来への第一歩」をテーマに開かれた今大会は、この後二つの学術講演と一つの文化講演が行われ、長崎大学病院院長の河野茂先生が「西洋医学と長崎」と題して、長崎を起点とした近代医学の発展の歴史を、また活水女子大学看護学部看護学科教授の内海文子先生が「女性がん予防のすすめ」と題して女性がん予防に対する正しい知識の普及と、女性の命を守り家族の幸福を実現するための講演を、(前)長崎歴史博物館研究所所長の原田博二先生が「竜馬が歩いた長崎」と題して長崎での竜馬の足跡、さらには竜馬を魅了した長崎について講演された。

予防医学事業推進 近畿東海北陸地区会議が開催



予防医学事業を推進する上での諸問題の解決策や、健康診断の精度向上を協議するための同地区会議が、10府県各予防医学協会の役員74名が参加し、12月2日、3日の両日、静岡市内の中島屋グランドホテルを会場に開催されました。

初日は、事務局長を主体の運営会議、業務渉外担当者、業務会議、健診検査担当者、健診検査会議を開催いたしました。



運営会議では、公益財団法人移行に向けた取り組み状況や、経済状況の低迷による健康診断事業への影響等について活発な意見交換が行われました。業務会議では、昨今話題となっているメンタルヘルスへの取り組みや、受診率向上に向けた取り組み等、13項目の協議を行いました。

編集後記

皆さま、新しい年をいかがお過ごしですか。▼さて昨年の暮れから今年に入って忘年会や新年会で飲み機会があったと思いますが自分分は、たいがいビールに始まり、最後には、いつも「焼酎のお茶割り(静岡では、静岡割りとも呼ぶ)を飲んでいるのがお決まりのパターンである。▼静岡は何といてもお茶処なので、焼酎のお茶割りは全国的にも当たり前のものだと思っていれば、これがどうも違うらしい。静岡県外の人が静岡に来て、一緒に飲みに行くと、いつもお茶割りを勧めるのであるが、これが非常に珍しく、驚きと感動があるらしい。▼焼酎自体に味がほとんどついていないので、お茶本来の甘みや旨みも十分に味わうことができるこの「焼酎のお茶割り」。悪酔いもしないし、二日酔いにもなりにくく、健康にもいい気がする。?と思っ

ているのは、自分だけなのか(笑) (健康増進課 井林)